

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	びあキント			
○保護者評価実施期間	2025年 10月 1日		～	2025年 11月 29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50名	(回答者数)	30名
○従業者評価実施期間	2025年 10月 1日		～	2025年 10月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 30日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○保護者からの質問に対して、一人だけで考えず、専門分野それぞれの職員から話をしている。 ○科学的根拠に基づいた発達支援をしている。 ○指導員が固定されないこと。 ○多様な経験を提供できる。 ○職員間でも情報共有し、それぞれの職員の得意分野を活かしながら保護者にフィードバックするようにしている	子ども、保護者ともに、様々な職員が関わりをもてるように、取り組んでいる。困りごとを、専門的な視点から解決に繋がれるように支援している。また、様々な専門分野の職員からの意見をもとに支援をしている。	職員間での情報共有も、さらに充実させることで、より専門的な支援に繋がれるように努めていく。
2	○送迎時の保護者との関わりや情報共有を大事にしている ○保護者とのヒヤリングの時間を大切にしている。	保護者との情報共有を大切にしており、ニーズに合った支援ができるように努めている。	ヒヤリングの大切さを、職員間で定期的に話し合い引き続き取り組んでいく。
3	○相談内容を受けることができる。	保護者との話の中で、気になることは内容に合わせて相談に繋がれるようにしている。	困りごとがどのポイントにあるのかを聞き取り、解決に繋がれるように努めていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○送迎がない。	利用日数の減少につながる	保護者と、対面して情報共有することを大切にしていく。
2	○食提供なし。		今の現状では、食事提供よりも療育内容の充実さを深めていきたい。ニーズがあった場合には、検討していく。
3	○放デイの場合年齢制限が高校までではない。	利用日数の減少につながる	必要に応じて、受け入れ年数の調整も検討していく。